

# ハイパーサーバサービス Let's Encrypt(無料 SSL)の設定

・Let's Encrypt(無料 SSL 証明書)を利用してホームページやウェブメール、メールの通信を暗号化し、保護する方法についてご案内します。

・お手元に「FITWeb ハイパーサーバご利用開始のお知らせ」(以下「通知書」)をご用意ください。

## ■ Let's Encrypt を設定します

- ① ブラウザ(Microsoft Edge など)を起動します。  
通知書の「コントロールパネル情報」項目に記載されている「コントロールパネル URL」をブラウザのアドレス欄に入力します。



- ② ログイン画面が表示されます。  
通知書の「コントロールパネル情報」項目に記載されている「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。  
「ログイン」ボタンをクリックします。

A screenshot of the FITWeb HyperServer login page. The page title is "FITWeb ハイパーサーバ". It features a login form with the following elements: a "ユーザ名" (Username) input field, a "パスワード" (Password) input field with a toggle for visibility, a dropdown menu for "インターフェース言語" (Interface language) set to "デフォルト" (Default), a link for "パスワードを忘れた場合" (Forgot password), and a blue "ログイン" (Login) button. Red rectangles highlight the username and password fields and the login button.

- ③ ハイパーサーバサービスの諸設定を行う為の、「コントロールパネル」のメイン画面が表示されます。「ウェブサイトとドメイン」タブの「SSL/TLS 証明書」をクリックします。

The screenshot shows the Plesk control panel interface. On the left is a dark sidebar with navigation options: 'ウェブサイトとドメイン', 'メール', 'ファイル', 'データベース', '統計', and 'アカウント'. The main content area is titled 'ウェブサイトとドメイン' and displays settings for 'info.trial.fitweb.net'. A red box highlights the 'SSL/TLS 証明書' option, which has a warning icon and the text 'ドメインが安全ではありません'. Other visible options include 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'PHP 設定 (v7.1.33 サポート終了)', 'Apache と nginx の設定', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'メールアカウント', 'パスワード保護ディレクトリ', and 'ログ'. On the right, there are sections for 'データベース' (with '送信メールの制御' checked) and 'リソース利用状況' (Resource Usage) showing disk space and traffic statistics.

- ④ SSL 証明書の設定画面が表示されます。

【初めて SSL 証明書を発行する場合】

「インストール」をクリックします。

⚠ お使いのドメインは有効な SSL/TLS 証明書で保護されていません。データ転送、クレジットカード取引、ログイン、その他の個人情報を保護するには、有効な証明書を注文またはインストールしてください。



### 証明書がインストールされていません

ドメインを保護する方法をご紹介します。

🏆 Let's Encrypt で提供される基本の無料証明書をインストールする

**インストール**

↑ 購入した証明書をアップロードする  
.pem ファイルはどこにありますか?

.pem ファイルをアップロード

↓ 既存の証明書をダウンロードまたは削除してください

管理

【すでに SSL 証明書をお持ちで、追加で保護したい通信がある場合】  
「証明書の再発行」をクリックします。



「インストール」をクリックします。


## 証明書を発行する製品を選択

どのような証明書をお探しですか？

① 以下のそれぞれの証明書で、ブラウザのセキュリティ警告を回避できます。有効期限は 12 ヶ月で、保証付きです。

推奨 <input checked="" type="checkbox"/>	ワイルドカード <input type="checkbox"/>	組織での使用向け <input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------------------

⚠ フィルター条件を満たす製品はありません。

 Let's Encrypt で提供される基本の無料証明書をインストールする

インストール

⑤ Let's Encrypt SSL 証明書の設定画面が表示されます。

メールアドレスを入力し、SSL 証明書で保護したいサービスにチェックを入れて「無料で取得」をクリックします。

ワイルドカードドメインを保護(www とウェブメールを含む)	チェックしない
ドメインにおよび選択された各エイリアスに「www」サブドメインを含める	チェックする
このドメインでウェブメールを保護	チェックする
メールドメインに証明書を割り当てる(※)	チェックする

※メールの通信を SSL 証明書で保護する場合、ホームページもメールも FITWeb ハイパーサーバをご利用のお客様は「メールドメインに証明書を割り当てる」にチェックを入れてください。

ホームページを別のサーバでご利用のお客様等で、サブドメインの無いドメイン名(例: fitweb.or.jp)の IP アドレスが別のサーバに名前解決される場合は、「メールドメインに証明書を割り当てる」と「ワイルドカードドメインを保護(www とウェブメール含む)」の 2 つにチェックを入れてください。

**Let's Encrypt** エントリレベルの保護  
[別の値を選択]

Let's Encrypt は、所有するドメイン用に無料 SSL/TLS 証明書を作成できる認証局 (CA) です。  
続行すると、Let's Encrypt ご利用条件を読み、同意したことになります。  
注：証明書は有効期限の 30 日前に自動更新されます。

メールアドレス \*

重要な通知や警告を受け取るには、有効なメールアドレスを使用してください。

ドメイン名を保護  
info.trial.fitweb.net

ワイルドカードドメインを保護 (www とウェブメールを含む)  
\*.info.trial.fitweb.net

ドメインにおよび選択された各エイリアスに「www」サブドメインを含める  
www.info.trial.fitweb.net

このドメインでウェブメールを保護  
webmail.info.trial.fitweb.net

メールドメインに証明書を割り当てる  
info.trial.fitweb.net の IMAP、POP、SMTP

- ⑥ 手順⑤で「ワイルドカードドメインを保護(www とウェブメールを含む)」にチェックを入れた場合はドメインの認証画面が表示されます。  
表示された DNS レコードを対象ドメインの DNS サーバに追加し、名前解決できるようになったことを確認してから、「リロード」をクリックしてください。

<DNS サーバへの DNS レコード追加について>

DNS サーバに DNS レコードを追加する方法は DNS サーバの管理者にお問い合わせください。(FITWeb ハイパーサーバの DNS ホスティングをご利用のお客様は、DNS ホスティングのマニュアルを参照してください。)

(補足)

- ・ご利用の DNS サーバの設定にもよりますが、DNS レコードを追加してから名前解決ができるようになるまで、数分から数時間程度の時間がかかります。
- ・一度ドメインの認証画面を閉じた場合、「ウェブサイトとドメイン」タブの「SSL/TLS 証明書」のクリックにて再度表示されます。



## ドメイン info.trial.fitweb.net に対して Let's Encrypt からワイルドカード SSL/TLS 証明書の発行手続きが開始されました。

Plesk が以下のパラメータで DNS レコードを追加しています。  
終了するまでお待ちください：

レコードタイプ：TXT

ドメイン名：\_acme-challenge.info.trial.fitweb.net

レコード：aiaEcyCmBhvGI8asc8-  
LsinW4bXIR24npMEXXaONU\_U

既存の証明書リクエストを中止して削除するには、[キャンセル] をクリックしてください。

[リロード] をクリックする前に、DNS レコードが追加されており、外部で解決できることを確認してください。

🔄 リロード

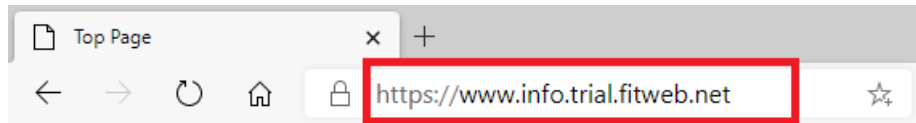
× キャンセル

## ■ ホームページが SSL 証明書で保護されていることを確認します

手順⑤でホームページを保護するよう設定した場合に確認を行ってください。

- ⑦ ブラウザをもう 1 画面起動し、アドレス欄にお客様のホームページの URL(https://www.~)を入力し、ホームページが表示されることを確認してください。

SSL 証明書が正しく設定できていない場合は、セキュリティ警告画面が表示されます。



### Top Page

This is a Top Page.  
これはトップページです。

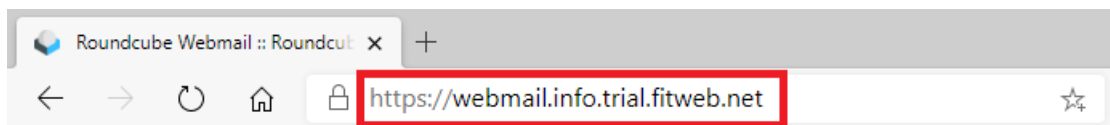
Web Server at info.trial.fitweb.net

## ■ ウェブメールが SSL 証明書で保護されていることを確認します

手順⑤でウェブメールを保護するよう設定した場合に確認を行ってください。

- ⑧ ブラウザをもう 1 画面起動し、アドレス欄にウェブメールの URL(https://webmail.~)を入力し、ウェブメールのログイン画面が表示されることを確認してください。

SSL 証明書が正しく設定できていない場合は、セキュリティ警告画面が表示されます。



Roundcube Webmail

## ■ メールの通信が SSL 証明書で保護されていることを確認します

手順⑤でメールの通信を保護するよう設定した場合に確認を行ってください。

- ⑨ メールソフトで以下の【設定変更内容】のとおり設定を変更し、メール送受信をお試ください。  
SSL 証明書に関するエラーが表示されず、メール送受信ができればメールの通信は正しく保護されております。

### 【設定変更内容】

項目	設定値
受信メールサーバ名(※)	ドメイン名 (例) info.trial.fitweb.net ※手順⑤、⑥でワイルドカードの SSL 証明書を発行した場合は、 「mail.ドメイン名」を指定してください。 (例) mail.info.trial.fitweb.net
送信メールサーバ名(※)	ドメイン名 (例) info.trial.fitweb.net ※手順⑤、⑥でワイルドカードの SSL 証明書を発行した場合は、 「mail.ドメイン名」を指定してください。 (例) mail.info.trial.fitweb.net
受信サーバポート番号(POP の場合)	995
受信サーバポート番号(IMAP の場合)	993
送信サーバポート番号	465

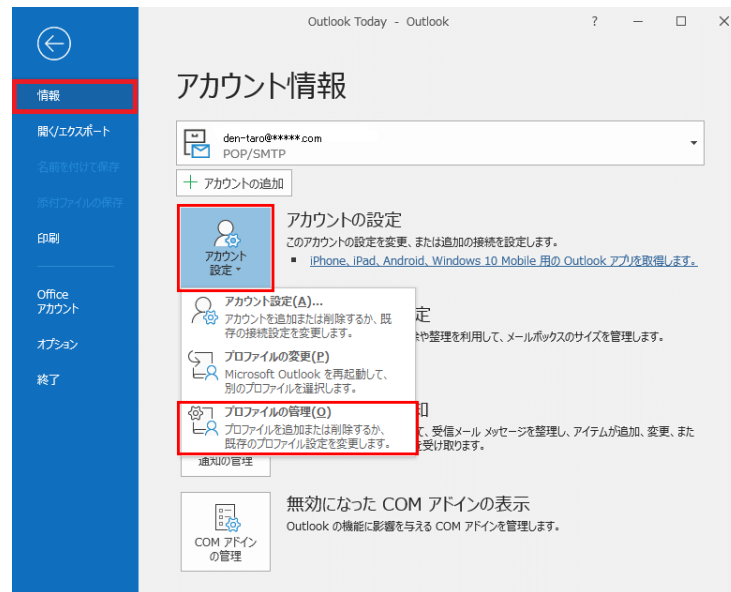
※通知書では受信メールサーバ名が「pop.ドメイン名」、送信メールサーバ名が「smtp.ドメイン名」と案内しておりますが、メールの通信を SSL 証明書で暗号化して保護する場合は、どちらもサブドメインの無い「ドメイン名」、または「mail.ドメイン名」を指定する必要があります。

以下は Outlook2019 を例にした設定変更手順です。

1. Outlook2019 を起動します。
2. 左上の「ファイル」をクリックします。



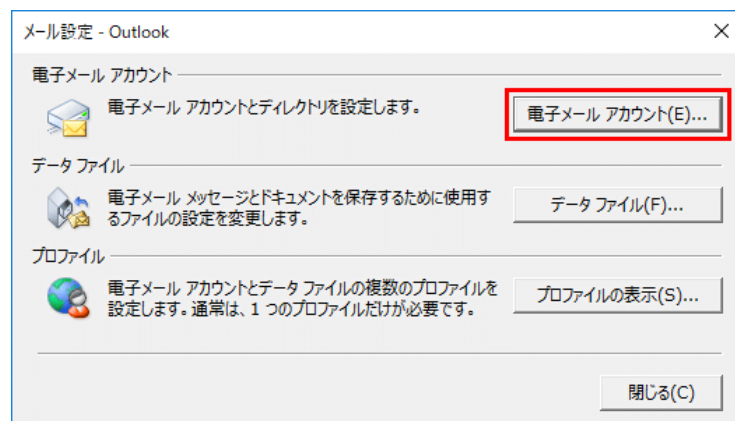
3. 「アカウント情報」の画面が表示されます。  
「アカウント設定」から「プロフィールの管理」をクリックします。



4. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は「はい」をクリックします。  
出ない場合は、5. へ進みます。



5. 「メール設定」画面が表示されます。  
「電子メール アカウント」ボタンをクリックします。





6. 「アカウント設定」画面が表示されます。

設定変更したいアカウントを選択して、「変更」をクリックします。



7. 「アカウントの変更」画面が表示されます。

以下のように設定し、画面右下の「詳細設定」ボタンをクリックします。

入力画面	設定値
名前	差出人として表示したい名前 (例) Hokuden Taro
電子メールアドレス	メールアドレス (例) den-taro@info.trial.fitweb.net
受信メールサーバー(POP3)	ドメイン名 (例) <b>info.trial.fitweb.net</b>  ※手順⑤、⑥でワイルドカードの SSL 証明書を発行した場合は、「mail.ドメイン名」を指定してください。(例) <b>mail.info.trial.fitweb.net</b>
送信メールサーバー(SMTP)	ドメイン名 (例) <b>info.trial.fitweb.net</b>  ※手順⑤、⑥でワイルドカードの SSL 証明書を発行した場合は、「mail.ドメイン名」を指定してください。(例) <b>mail.info.trial.fitweb.net</b>
アカウント名	メールアドレス (例)den-taro@fitweb.or.jp
パスワード	コントロールパネルで設定したパスワード
パスワードを保存する	チェックする
アカウント設定のテスト	チェックをはずす

アカウントの変更 ✕

POPとIMAPのアカウント設定  
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

**ユーザー情報**

名前(Y):

電子メール アドレス(E):

**サーバー情報**

アカウントの種類(A):

受信メール サーバー(I):

送信メール サーバー (SMTP)(O):

**メール サーバーへのログイン情報**

アカウント名(U):

パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

**アカウント設定のテスト**

アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

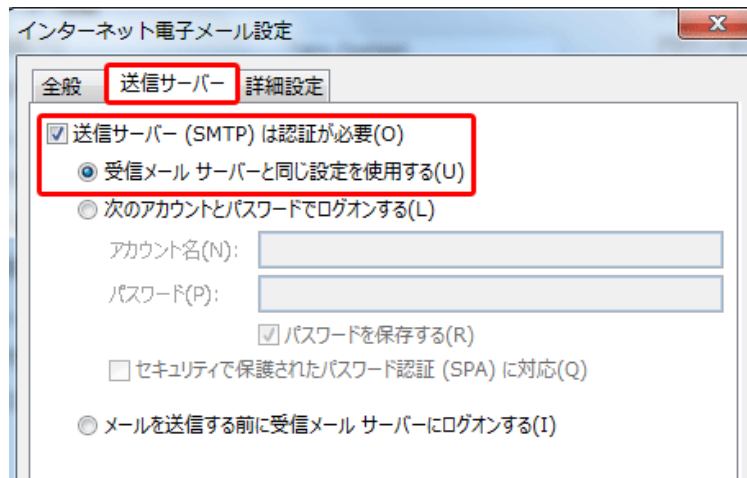
アカウント設定のテスト(T)

[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

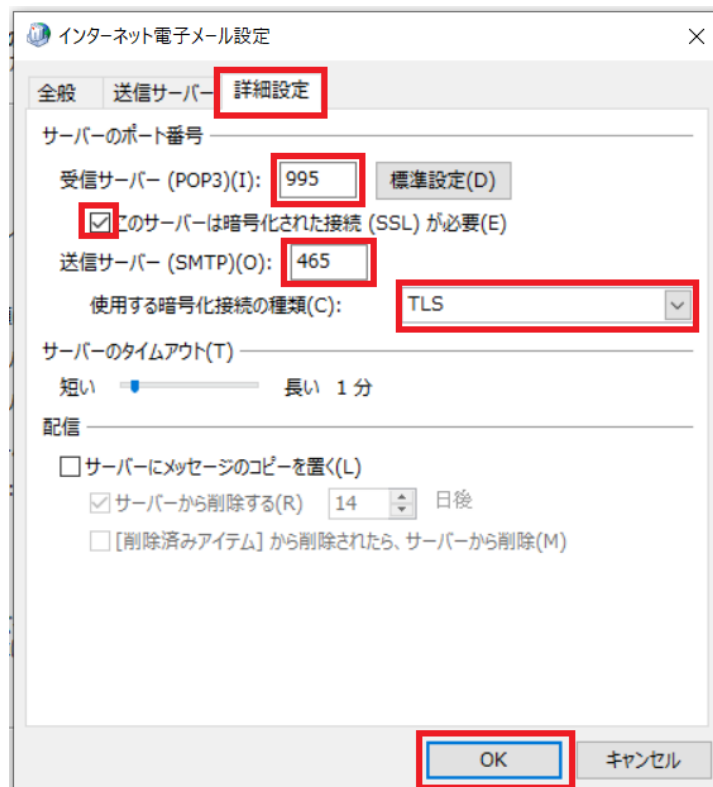
詳細設定(M)...

8. 「インターネット電子メール設定」画面が表示されます。  
 「送信サーバー」タブを開きます。  
 「送信サーバー (SMTP) は認証が必要」にチェックをし、「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」にチェックをします。



9. 「詳細設定」タブをクリックします。  
 以下のように入力し、OK をクリックします。

入力画面	入力内容
受信サーバー (POP3)	995
このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要	チェックする
送信サーバー (SMTP)	465
使用する暗号化接続の種類	TLS



10. 「アカウントの変更」画面に戻ります。

[次へ]ボタンをクリックします。

アカウントの変更

POP と IMAP のアカウント設定  
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

**ユーザー情報**  
名前(Y): Hokuden Taro  
電子メール アドレス(E): den-taro@info.trial.fitweb.ne

**サーバー情報**  
アカウントの種類(A): POP3  
受信メール サーバー(I): info.trial.fitweb.net  
送信メール サーバー (SMTP)(O): info.trial.fitweb.net

**メールサーバーへのログイン情報**  
アカウント名(U): den-taro@info.trial.fitweb.ne  
パスワード(P): \*\*\*\*\*  
 パスワードを保存する(R)

メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

**アカウント設定のテスト**  
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。  
アカウント設定のテスト(T)  
 [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

11. 「すべて完了しました」の画面が表示されます。「完了」ボタンを押します。

「メール設定」画面を「閉じる」で閉じます。

「アカウント情報」の画面を左上の「⊖」で閉じます。

以上で設定は完了です。

送受信を行い、メールが送受信できることと、SSL 証明書のエラーが表示されないことを確認してください。

アカウントの変更

すべて完了しました  
アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。

< 戻る(B) **完了**